



平成 30 年度体育指導力アップ研修会

6月21日に袋井市立山名小学校において、体育指導力アップ研修会が開催されました。増田義広先生（袋井北小）と三浦勝仁先生（東部小）に講師をお願いし、「走・跳の運動」（陸上運動）と「ボール運動」（タグラグビー）について研修を行いました。今回の研修で学んだ内容を紹介します。

○「走・跳の運動」（陸上運動）

①リレー遊び



ただ走るだけでなく、障害物を置いたり、ゲームを取り入れたりする。

②リレーのバトンパス



半身で待つと、手が横向きに出てしまう。

ラインやフラフープをスタート場所にしたり、スタートするタイミングの目印にしたりする。



前向きで待つことで、自然と手が後ろに出る。

○「ボール運動」（タグラグビー）



①ボール運び鬼

相手を引き付けたり、味方のあけたスペースを活用したりすることが重要。



②走りながらのパス練習

横か後ろにしかパスできないので、もらう人は「左」「右」と声を出す。



③ゲーム

試合を止めてルールを確認したり、いいプレーを認めたりすることが大切です。

サッカーやバスケットボールは作戦を立ててもドリブルやパスなどの技能が伴わないことがありますが、**タグラグビーは、ボールを手で持って運ぶことができ、ボール操作が容易であることから作戦を実行しやすいのが特徴です。**

○参加者アンケートより

- ・リレーで具体的にどんなことに気を付けて何を教えていけばいいのかが具体的に分かった。バトンパスの方法や、リレーのタイムを可視化することなどを実践していきたい。
- ・タグラグビーのゲームにいくまでのウォーミングアップがとても勉強になった。後ろにボールを投げることに慣れていない子供に対して、楽しみながら付けたい力を身に付ける方法が分かりました。